

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	発熱性好中球減少症に対する Tazobactam Piperacillin および Meropenem および Cefepime の費用対効果
受付番号	609
当院の研究責任者(所属)	新井 亘 (薬剤部)
研究協力者(所属)	土屋 裕伴 諸橋 賢人 増田 裕一 (薬剤部)
研究期間	2018年11月1日～2019年5月31日
調査データ対象期間	2015年10月1日～2018年9月30日
本研究の目的	がん化学療法に伴う発熱性好中球減少症 (febrile neutropenia ; FN) は、血液疾患や固形がんの治療経過中に好中球減少を来して発熱を伴い、時として重篤な感染症に発展し、死に至ることもある病態である。そのため、適切な抗菌薬治療を速やかに開始することが重要である。日本国内では FN に対して、cefepime (CFPM)、meropenem (MEPM)、tazobactam/piperacillin (TAZ/PIPC)に適応があり 3 剤の治療効果に関連する因子の検討及び、薬剤経済分析のモデリング手法に従い判断樹 (Decision tree) を用いた検証を retrospective にて検証し、薬剤選択に一定の基準が設け、耐性菌抑制へ貢献する。
対象となる患者さん	FN または FN 疑いと診断された患者さん。
利用する試料・情報	年齢、性別、診断名、採血結果 (AST、ALT、Cre、BUN、CRP、白血球数、好中球数)、血液培養検査の有無、体温。
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
倫理審査等の経過	第 203 回 上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2018年11月2日
オプトアウト期間	<input checked="" type="checkbox"/> 公開日から 1 か月 <input type="checkbox"/> 当該疾患の当院受診日から 6 か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111 (代表) 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科

